

## 2 児童館の状況

### (1) 児童館数の状況

平成13年10月1日現在における全国の児童館数は4,577施設である。これを類型別にみると、小型児童館が2,821施設(61.6%)、児童センターが1,583施設(34.6%)となっており、両者で全体の96.2%を占めている。

また、経営主体別にみると、公営が3,254施設、私営が1,323施設となっている(表7)。

表7 経営主体・類型別にみた児童館数

		平成13年10月1日現在						
		総数	小児童館	児童センター	大児童館型A	大児童館型B	大児童館型C	その他の児童館
		児童館数						
総数		4 577	2 821	1 583	17	4	1	151
公営		3 254	2 111	1 026	7	2	-	108
	都道府県	7	-	-	7	-	-	-
	指定都市	185	28	156	-	-	-	1
	中核市	93	40	52	-	1	-	-
	その他の市	2 969	2 043	818	-	1	-	107
私営		1 323	710	557	10	2	1	43
	社会福祉法人	1 039	593	426	3	2	-	15
	社団・財団及び日赤	210	70	129	7	-	1	3
	その他の法人	7	4	1	-	-	-	2
	その他	67	43	1	-	-	-	23
		構成割合(%)						
総数		100.0	61.6	34.6	0.4	0.1	0.0	3.3
公営		100.0	64.9	31.5	0.2	0.1	-	3.3
	都道府県	100.0	-	-	100.0	-	-	-
	指定都市	100.0	15.1	84.3	-	-	-	0.5
	中核市	100.0	43.0	55.9	-	1.1	-	-
	その他の市	100.0	68.8	27.6	-	0.0	-	3.6
私営		100.0	53.7	42.1	0.8	0.2	0.1	3.3
	社会福祉法人	100.0	57.1	41.0	0.3	0.2	-	1.4
	社団・財団及び日赤	100.0	33.3	61.4	3.3	-	0.5	1.4
	その他の法人	100.0	57.1	14.3	-	-	-	28.6
	その他	100.0	64.2	1.5	-	-	-	34.3

### (2) 併設施設の状況

児童館の他施設との併設の有無をみると、「併設施設あり」が1,948施設(42.6%)となっている。これを併設施設別にみると、「老人・障害者福祉施設」が564施設(29.0%)、「保育所」が402施設(20.6%)となっている(表8)。

表8 経営主体別にみた併設施設の状況(併設施設の種類は複数回答)

		平成13年10月1日現在								
		総数	併設施設あり	保育所	保育所以外 の児童福祉 施設	老人・障害 者福祉施設	学校・教育 機関	その他	併設施設 なし	不詳
		児童館数								
総数		4 577	1 948	402	170	564	213	986	2 562	67
公営		3 254	1 362	257	139	390	185	673	1 843	49
	都道府県	7	2	-	-	-	2	-	5	-
	指定都市	185	130	11	3	44	70	16	55	-
	中核市	93	34	-	-	7	8	26	59	-
	その他の市	2 969	1 196	246	136	339	105	631	1 724	49
私営		1 323	586	145	31	174	28	313	719	18
	社会福祉法人	1 039	470	133	27	150	24	216	556	13
	社団・財団及び日赤	210	75	3	4	15	2	66	132	3
	その他の法人	7	5	2	-	-	-	4	2	-
	その他	67	36	7	-	9	2	27	29	2
		構成割合(%)								
総数		100.0	42.6 (100.0)	(20.6)	(8.7)	(29.0)	(10.9)	(50.6)	56.0	1.5
公営		100.0	41.9 (100.0)	(18.9)	(10.2)	(28.6)	(13.6)	(49.4)	56.6	1.5
	都道府県	100.0	28.6 (100.0)	(-)	(-)	(-)	(100.0)	(-)	71.4	-
	指定都市	100.0	70.3 (100.0)	(8.5)	(2.3)	(33.8)	(53.8)	(12.3)	29.7	-
	中核市	100.0	36.6 (100.0)	(-)	(-)	(20.6)	(23.5)	(76.5)	63.4	-
	その他の市	100.0	40.3 (100.0)	(20.6)	(11.4)	(28.3)	(8.8)	(52.8)	58.1	1.7
私営		100.0	44.3 (100.0)	(24.7)	(5.3)	(29.7)	(4.8)	(53.4)	54.3	1.4
	社会福祉法人	100.0	45.2 (100.0)	(28.3)	(5.7)	(31.9)	(5.1)	(46.0)	53.5	1.3
	社団・財団及び日赤	100.0	35.7 (100.0)	(4.0)	(5.3)	(20.0)	(2.7)	(88.0)	62.9	1.4
	その他の法人	100.0	71.4 (100.0)	(40.0)	(-)	(-)	(-)	(80.0)	28.6	-
	その他	100.0	53.7 (100.0)	(19.4)	(-)	(25.0)	(5.6)	(75.0)	43.3	3.0

注：併設施設の種類「その他」には、集会所、公民館、図書館等が含まれる。

(3) 利用者の状況

平成13年4月から同年9月までの期間の利用者についてみると、1児童館当たり1日平均利用者数は67.4人となっている。これを利用者数の規模別にみると、「20～39人」が24.2%で最も多く、次いで「40～59人」が21.1%となっている（図5、統計表4）。

また、1日平均利用者総数は303,956人であり、そのうち児童の利用者は236,404人で、「小学生」が67.6%で最も多く、次いで「乳幼児」が24.4%となっている（図6）。

図5 1児童館当たり1日平均利用者数の状況

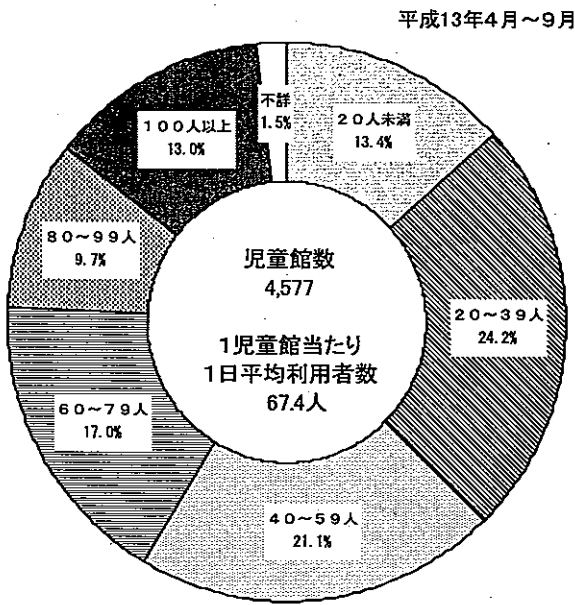
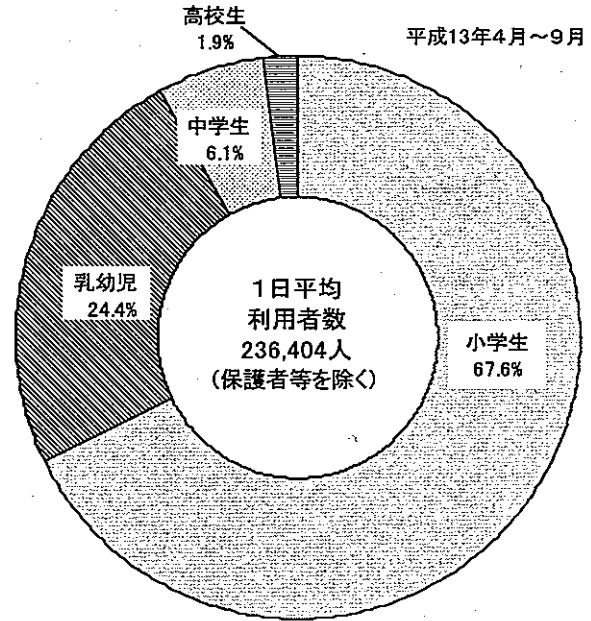


図6 児童館利用者(児童)の状況

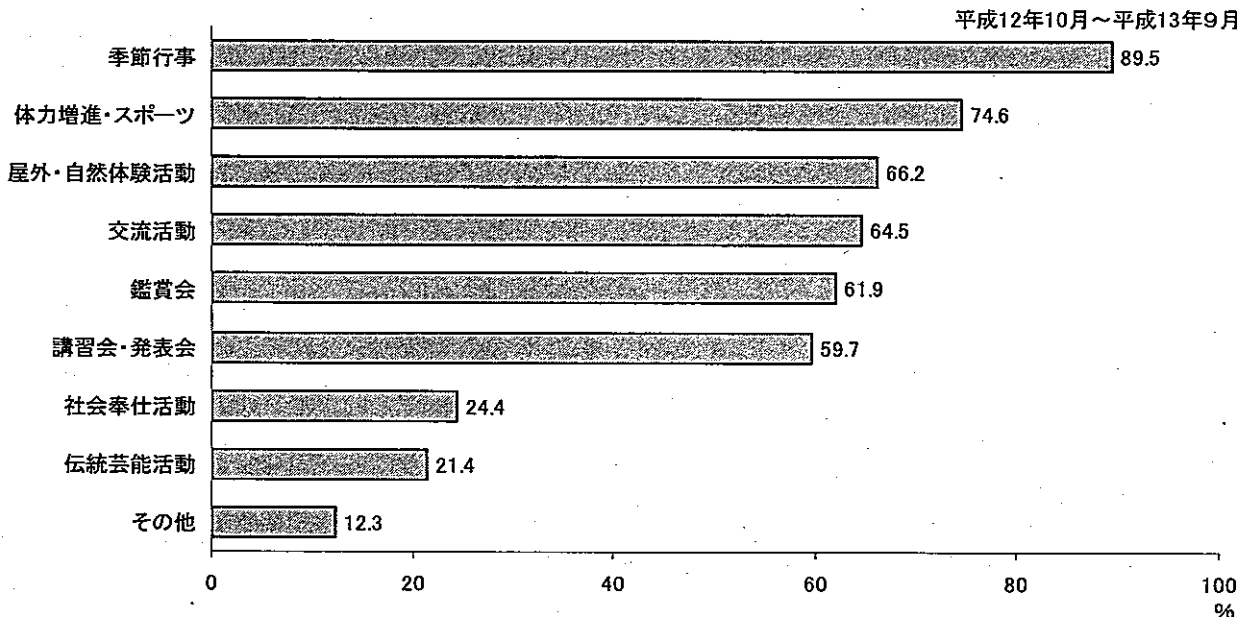


注:保護者等を含む1日平均利用者総数は、303,956人。

(4) 児童館主催の行事・イベントの状況

平成12年10月から平成13年9月までの期間の児童館主催の行事・イベントの内容をみると、「季節行事」は89.5%、「体力増進・スポーツ」は74.6%の児童館で実施している。また、「屋外・自然体験活動」「交流活動」「鑑賞会」「講習会・発表会」は、それぞれ約6割の児童館が実施している（図7、統計表5）。

図7 児童館主催の行事の状況（複数回答）

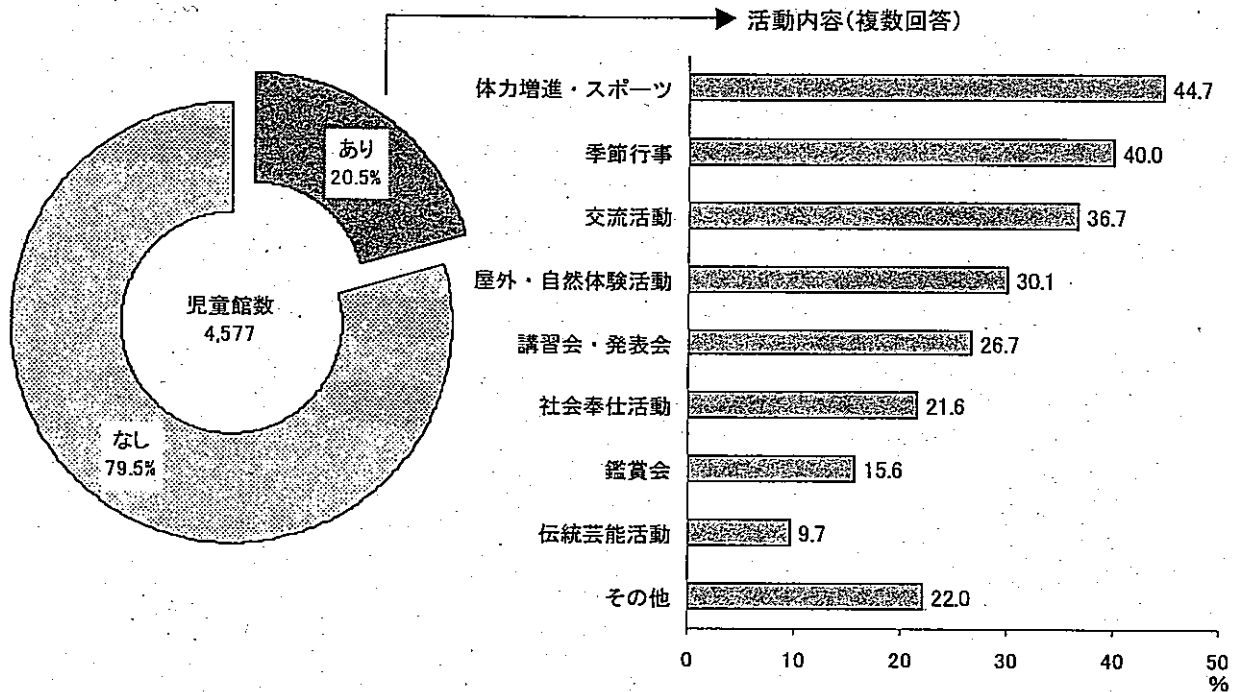


(5) 中・高校生を対象とした活動の状況

中・高校生を対象とした活動の有無をみると、「あり」は20.5%となっている。  
これを活動内容別にみると、「体力増進・スポーツ」が44.7%で最も多く、次いで「季節行事」が40.0%となっている(図8、統計表6)。

図8 中・高校生を対象とした活動の状況

平成12年10月～平成13年9月

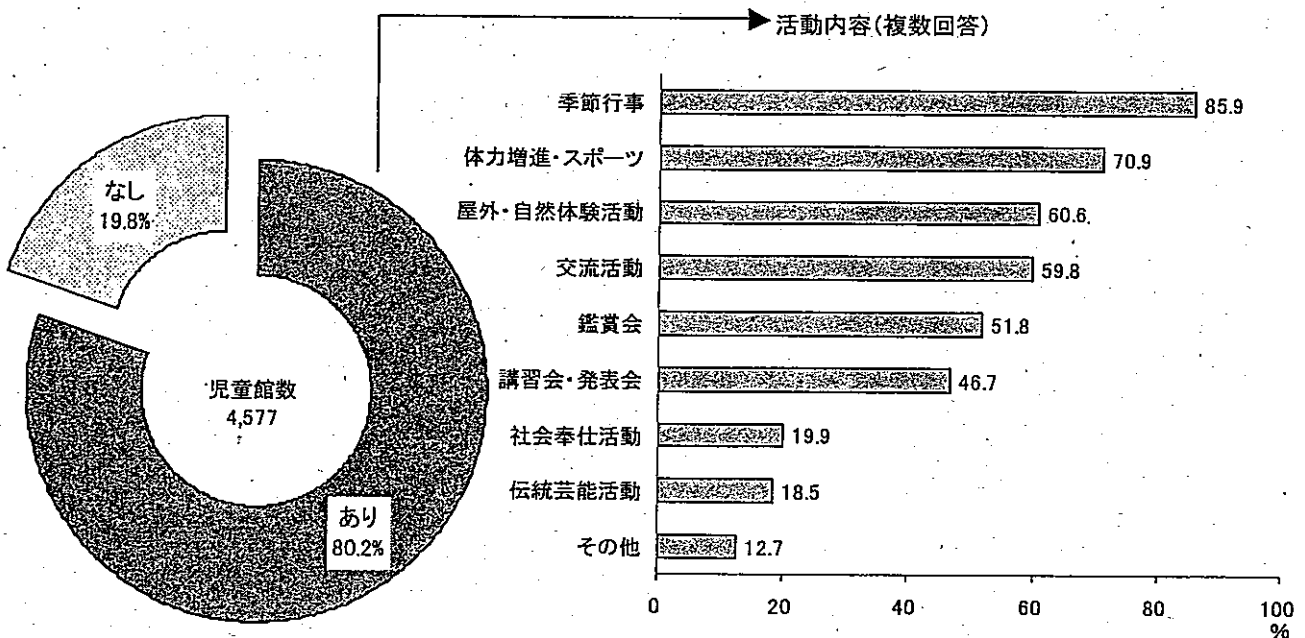


(6) 異年齢児との交流を目的とした活動の状況

異年齢児との交流を目的とした活動の有無をみると、「あり」は80.2%となっている。  
これを活動内容別にみると、「季節行事」が85.9%で最も多く、次いで「体力増進・スポーツ」が70.9%となっている(図9、統計表7)。

図9 異年齢児との交流を目的とした活動の状況

平成12年10月～平成13年9月



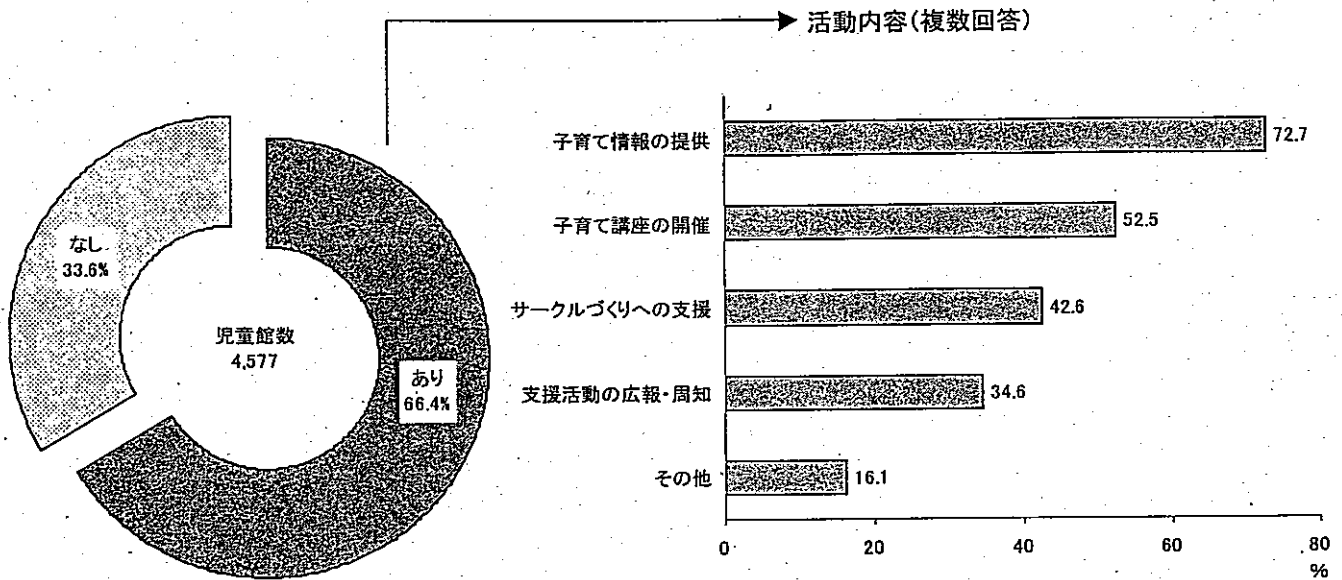
(7) 乳幼児、子育て支援活動の状況

乳幼児、子育て支援活動の有無をみると、「あり」は66.4%となっている。

これを活動内容別にみると、「子育て情報の提供」が72.7%で最も多く、次いで「子育て講座の開催」が52.5%となっている(図10、統計表8)。

図10 乳幼児、子育て支援活動の状況

平成12年10月～平成13年9月



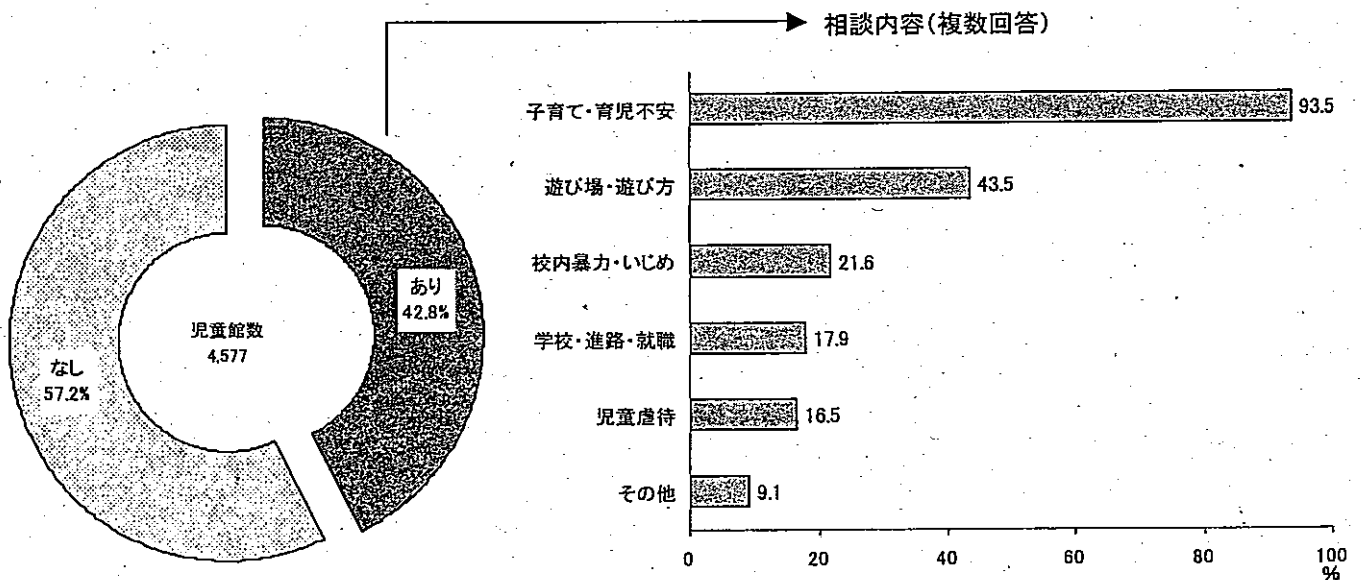
(8) 子育て等の相談受付の状況

子育て等の相談受付の有無をみると、「あり」は42.8%となっている。

これを相談内容別にみると、「子育て、育児不安」が93.5%と最も多く、次いで「遊び場・遊び方」が43.5%となっている(図11、統計表9)。

図11 子育て等の相談受付の状況

平成12年10月～平成13年9月



(9) 障害児対応の状況

障害児の児童館の利用形態をみると、「障害児が自由に来館して利用」が50.7%で最も多く、次いで「障害児も含めた児童を対象とした行事の中で利用」が25.1%となっている(図12、統計表10)。

また、児童館の障害児対応の設備の有無をみると、「あり」は47.2%となっている。これを設備の別にみると、「トイレ」が37.3%、「スロープ」が32.3%の順に多くなっている(図13、統計表11)。

図12 障害児の利用形態(複数回答)

平成13年10月1日現在

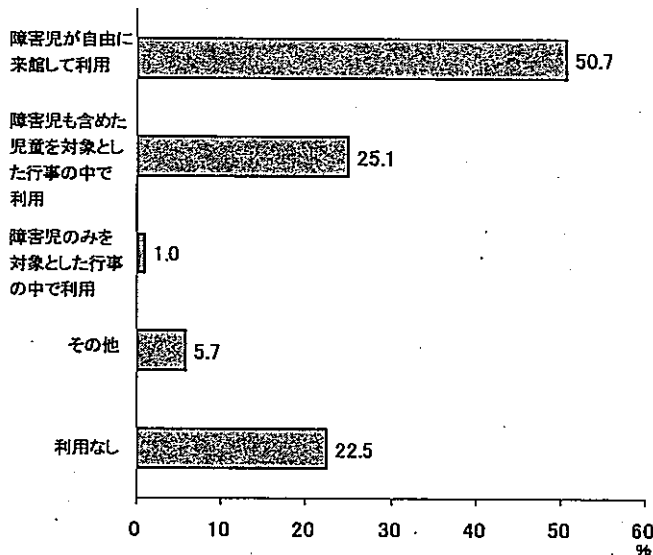
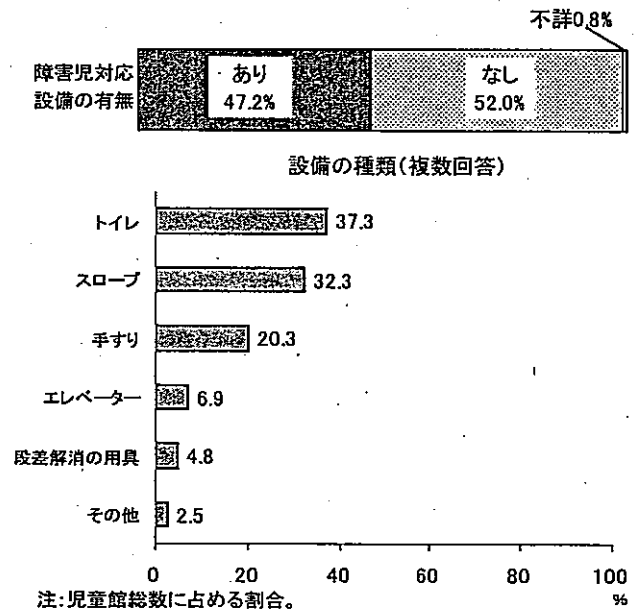


図13 障害児対応の設備の状況

平成13年10月1日現在



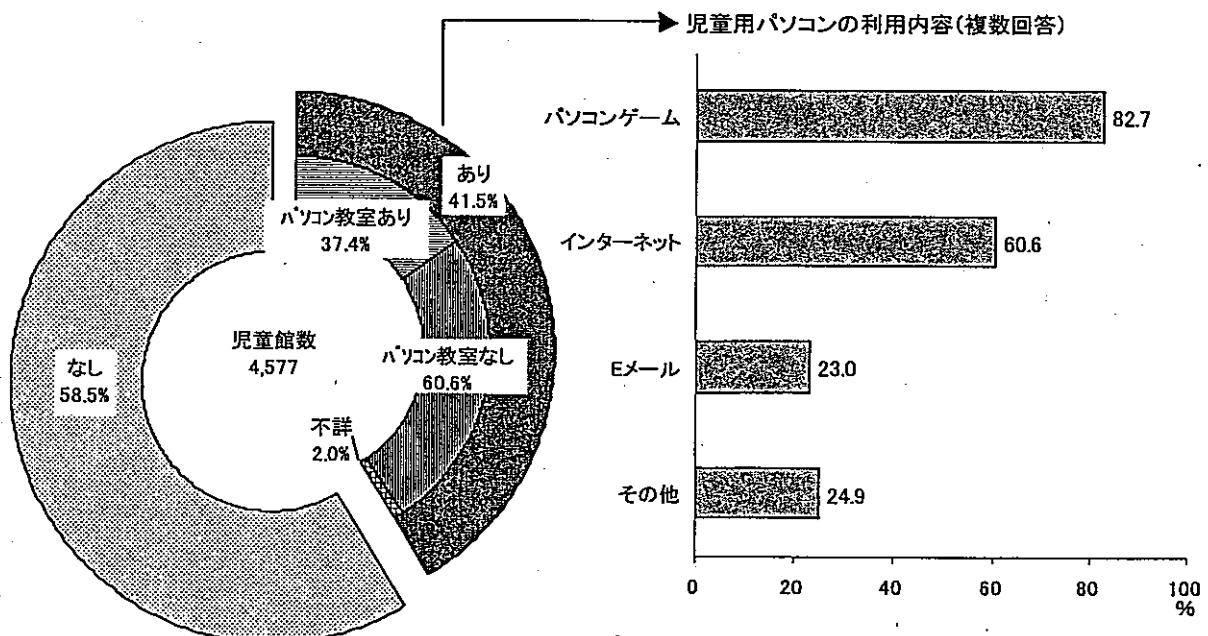
(10) 児童用パソコン保有の状況

児童館の児童用パソコン保有の状況をみると、「あり」は41.5%となっている。保有「あり」のうち、パソコン教室の有無をみると「パソコン教室あり」が37.4%となっている。

また、利用内容別にみると、「パソコンゲーム」が82.7%と最も多く、次いで「インターネット」が60.6%となっている。(図14、統計表12)。

図14 児童用パソコン保有の状況

平成13年10月1日現在



(11) 児童館の類型別活動等の状況

児童館の類型別活動の状況をみると、「異年齢児との交流を目的とした活動」及び「子育て等の相談受付」では、児童センターの「あり」の割合が、それ以外の活動等では大型児童館の「あり」の割合が高くなっている（表9）。

表9 児童館の類型別にみた活動等の状況

平成13年10月1日現在

		総数	小型 児童館	児童 センター	大型 児童館	その他の 児童館
		児 童 館 数				
総 数		4 577	2 821	1 583	22	151
中・高校生を対象とした活動	あり	940	504	406	12	18
	なし	3 637	2 317	1 177	10	133
異年齢児との交流を目的とした活動	あり	3 671	2 185	1 376	17	93
	なし	906	636	207	5	58
乳幼児、子育て支援活動	あり	3 038	1 701	1 246	18	73
	なし	1 539	1 120	337	4	78
子育て等の相談受付	あり	1 959	1 132	781	10	36
	なし	2 618	1 689	802	12	115
障害児対応の設備	あり	2 160	1 063	1 027	21	49
	なし	2 381	1 737	544	-	100
児童用パソコン保有	あり	1 898	1 137	699	15	47
	なし	2 679	1 684	884	7	104
		構 成 割 合 (%)				
総 数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中・高校生を対象とした活動	あり	20.5	17.9	25.6	54.5	11.9
	なし	79.5	82.1	74.4	45.5	88.1
異年齢児との交流を目的とした活動	あり	80.2	77.5	86.9	77.3	61.6
	なし	19.8	22.5	13.1	22.7	38.4
乳幼児、子育て支援活動	あり	66.4	60.3	78.7	81.8	48.3
	なし	33.6	39.7	21.3	18.2	51.7
子育て等の相談受付	あり	42.8	40.1	49.3	45.5	23.8
	なし	57.2	59.9	50.7	54.5	76.2
障害児対応の設備	あり	47.2	37.7	64.9	95.5	32.5
	なし	52.0	61.6	34.4	-	66.2
児童用パソコン保有	あり	41.5	40.3	44.2	68.2	31.1
	なし	58.5	59.7	55.8	31.8	68.9

注：総数には、不詳を含む。